

点検・評価シート（２）

第 3 次大和市生涯学習計画

大項目 1

一人ひとりへの働きかけ

中項目（1）情報の提供

〔目標〕 生涯学習各関係機関の機能を明確にし、情報システムを確立するとともに、その普及・活用を図ります。

主な事業と平成 20 年度の実績

<小項目 > 情報提供の充実

- ・ 多様化した市民ニーズに応えるため、関連情報の収集・蓄積・提供の充実に努めます。
- ・ 市民が、いつでもどこでも自分にあった方法で情報が取得できるよう、情報誌やインターネットなど様々なメディアを使った情報提供に努めます。
- ・ 図書の活用促進と、図書館のレファレンス機能の充実に努めます。

（1）生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	3,742 件	(前年度 3,501 件)
事業・講座情報	2,314 件	(同上 3,540 件)
資格・試験情報	25 件	(同上 61 件)
ボランティア講師制度情報	466 件	(同上 441 件)
市民端末利用者数	15,433 人	(同上 17,820 人)
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)		
その他	7,544 件	(同上 8,332 件)

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 3,501 件 実績 3,742 件

（2）青少年センター運営事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年健全育成のため、青少年・青少年団体等へ施設を提供しました。また、大和市のホームページの体系の中で、青少年関係のページの内容の充実と、情報の随時更新を行いました。

・ 青少年センター利用者総数 45,232 人 (前年度 42,503 人)

・ 青少年センター個人・団体別等利用者数

個人：2,990 人 / 団体：38,493 人 / 自主事業：3,749 人

・ 青少年センター区分別利用者数

幼児	8,979 人	保護者	8,646 人	小学生	7,713 人
中学生	1,282 人	高校生	458 人	学生	1,095 人
勤労青年	2,837 人	指導者	3,173 人	その他	11,049 人

・ 情報提供項目数 58 項目

〔活動指標〕 情報提供項目数 (ホームページ) 予定 56 件 実績 58 件

(3) 図書館情報提供事業

【担当】 図書館

- 【事業内容】**
- ・図書館ホームページでの蔵書検索、新着図書情報などを随時開示するとともに、更新頻度を高めました。
 - ・インターネットによる予約受付を行いました。
 - ・ブックリスト・図書館報を作成しました。



【活動指標】 図書情報冊子(ブックリスト)発行部数 **予定 5,000冊 実績 6,000冊**

<小項目> 学習相談の充実

- ・生涯学習情報システム「やまと生涯学習がいどぶっく電子版」等を活用した相談体制の充実を図ります。
- ・学習センターでの学習相談をはじめ、青少年センターや子育て支援センター等での教育相談等、市民一人ひとりの実情に合わせたきめ細かい相談事業の充実を図ります。

(再掲) 生涯学習情報提供・学習相談事業

【担当】 生涯学習センター

- 【事業内容】** 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	3,742件(前年度 3,501件)
事業・講座情報	2,314件(同上 3,540件)
資格・試験情報	25件(同上 61件)
ボランティア講師制度情報	466件(同上 441件)
市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	15,433人(同上 17,820人)
その他	7,544件(同上 8,332件)

【活動指標】 サークル・団体情報提供件数 **予定 3,501件 実績 3,742件**

<小項目 > 支援者の充実

- ・ 生涯学習活動を支援する行政側のスタッフ（学習相談員、社会教育指導員、社会教育主事、司書等）の充実に努めます。
- ・ 地域における人材情報の収集・蓄積・提供を行い、生涯学習ボランティア講師の充実に努めます。

(1) スポーツ指導者育成支援事業

【担当】 スポーツ課

- 【事業内容】**
- ・ 大和市体育指導委員連絡協議会に対して補助金を交付しました。
 - ・ 他市交流研修会を実施しました。(伊勢原市・寒川町・大和市 64 名参加)
 - ・ 神奈川県体育指導委員連合会研修会へ派遣しました。(3 回延べ 81 名参加)
 - ・ 関東体育指導委員研究大会へ派遣しました。(栃木県 19 名参加)
 - ・ 全国体育指導委員研究協議会へ派遣しました。(千葉県 20 名参加)
- 【活動指標】** 各部会実施回数 **予定** 20 回 **実績** 20 回

(2) 青少年指導者育成支援事業

【担当】 こども・青少年課

- 【事業内容】** 青少年健全育成団体への支援、青少年センターまつりの開催、青少年指導者養成事業を実施しました。
- 【活動指標】** 青少年指導員年間活動数 **予定** 30 件 **実績** 30 件

(3) 図書館ボランティア養成講座事業

【担当】 図書館

- 【事業内容】**
- ・ ボランティアの養成を行いました。
 - ・ 養成講座やボランティアのつどい(市内活動団体の交流会)を実施しました。
- 読み聞かせボランティア養成講座
- 基礎編 : 2 回実施・延べ 58 名参加
 - ステップアップ編 : 3 回実施・延べ 88 名参加
 - ストーリーテリングボランティア養成講座 : 3 回実施・延べ 54 名参加
 - ボランティアのつどい : 1 回実施・9 団体・27 名参加



- 【活動指標】** ボランティア養成講座受講者数 **予定** 90 人 **実績** 96 人

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・ 生涯学習関連情報については、サークル・団体情報件数が予定数 3,501 件から実績数 3,742 件に増えているように、達成度は高くなっています。
- ・ 図書情報冊子についても、予定数 5,000 冊が実績数 6,000 冊と増えています。

未達成の点

- ・ 情報の提供は、様々な媒体を使用し行っており、未達成の点はありません。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・ 市民ニーズは多様化しており、市民は情報には敏感になっています。情報に関する市民ニーズに応えるためのニーズ調査等のフォローアップをしっかりと行っていくように努めます。
- ・ 今後は、情報をただ発信するだけでなく、市民ニーズを的確に捉え、情報を提供する人材の育成を図り、迅速で正確な情報の提供に努めていきます。

中項目（２）学習機会の提供

〔目標〕 全庁的な連携と協力体制を強固なものにし、体系化された学習機会の提供と、市民ニーズに合致した新しい事業の創出に努めます。

主な事業と平成 20 年度の実績

<小項目 > 市民ニーズに応じた学習機会の提供

- ・ 全庁で実施している事業を有機的なつながりをもって提供できるように、重複事業の一元化を図り、効果的な事業を実施していきます。
- ・ 分野別 / 難易度別に体系化した学習機会の提供に努めます。
- ・ 実施時間 / 曜日 / 保育付きなど市民の多様なライフスタイルに配慮した、参加しやすい講座を実施します。

（１）青少年育成事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 ・ 青少年を対象とした、社会・自然体験推進のため、大和ユースクラブに事業を委託しました。

<会員数>

わくわく冒険隊 : 76 人 ジュニアシニアクラブ : 72 人

ユースボランティア : 74 人

・ 子どもが自由に活動できる場所を提供しました。

子ども広場 ... 毎週水曜日の午後と土曜日、夏休み中に体育室を開放しました。

ユースクラブ ... 宿泊研修、野外活動体験等の活動を実施しました。

中高生ボランティア ... 夏休み中の子ども広場をボランティア体験の場として実施しました。

〔活動指標〕 ユースクラブ活動日数 予定 100 日 実績 103 日

（２）少年洋上体験事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年健全育成基金を原資とし、帆船「あこがれ」をチャーターし、3泊4日のセイルトレーニング（本研修）と、事前・事後研修を実施しました。

参加者数 30 人（前年度 30 人）

本研修 8 月 23 日（土）～ 26 日（火）

発着港 清水港から
大阪南港

研 修

（事前）8 月 10 日（日）

（事後）9 月 6 日（日）

〔活動指標〕 参加者数
予定 30 人 実績 30 人



(3) 講座等開催事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

- ・生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 65 事業（前年度 77 事業）
- ・現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
27 事業（同上 20 事業）
- ・その他事業（音楽会や発表会等） 29 事業（同上 29 事業）
- ・協働事業（渋谷中学校） 24 事業（同上 18 事業）



【活動指標】 開催講座数 予定 145 事業 実績 144 事業

(4) 市民大学事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・人間を知るコース（4 回開催）
「市民健康セミナー “気づき” 健康な生活をおくるために」
- ・大和を知るコース（7 回開催）
「わがまちを知る！大和市の地名～地名から大和の歴史を知る」
- ・現代を知るコース（5 回開催）
「航空工学入門
～初めての飛行力学」

【活動指標】 講座回数
予定 16 回 実績 16 回



(5) 図書資料貸出事業

【担当】 図書館

【事業内容】 利用者が図書館に求める資料を収集しました。
未所蔵の資料について、相互貸借システムなどにより提供しました。

蔵書冊数（市内図書施設合計） 400,171 冊（前年度 391,461 冊）

【活動指標】 資料貸出冊数 予定 900,000 冊 実績 904,883 冊

<小項目 > 現代的課題に関する学習機会の提供

- ・ 関連計画との整合を図り、庁内で連携した学習機会の提供に努めていきます。
- ・ 現代的課題を生涯各期の学習機会の中に体系化し、それぞれの年代に応じ学習機会の提供に努めていきます。

(再掲) 講座等開催事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

- ・ 生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 65 事業（前年度 77 事業）
- ・ 現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
27 事業（同上 20 事業）
- ・ その他事業（音楽会や発表会等） 29 事業（同上 29 事業）
- ・ 協働事業（渋谷中学校） 24 事業（同上 18 事業）

【活動指標】 開催講座数 予定 145 事業 実績 144 事業

(再掲) 市民大学事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・ 人間を知るコース（4 回開催）
「市民健康セミナー “気づき” 健康な生活をおくるために」
- ・ 大和を知るコース（7 回開催）
「わがまちを知る！大和市の地名～地名から大和の歴史を知る」
- ・ 現代を知るコース（5 回開催）
「航空工学入門～初めての飛行力学」

【活動指標】 講座回数 予定 16 回 実績 16 回

<小項目 > 生涯にわたるスポーツと健康維持・増進のための学習機会の提供

- ・ 地域住民の主体的なスポーツ活動を支援し、定期的・継続的なスポーツ活動の充実を図ります。
- ・ 生涯スポーツ事業を年代別・難易度別に体系化した行事や教室等の提供に努めます。
- ・ スポーツ水準の向上を図るための事業を提供していきます。
- ・ 心身の健康管理や病気予防等の知識が身につく講座を開催するなど、健康を維持増進するための学習機会を提供していきます。

(1) スポーツ大会開催事業

[担当] スポーツ課

[事業内容] 各種スポーツ大会の開催を支援しました。

<開催実績(参加チーム・人数等)>

- ・ 大和市民総合スポーツ選手権大会 7,668人(前年度 6,824人)
- ・ 大和市駅伝競走大会 104チーム(同上 103チーム)
- ・ スポーツフェスタ 来場者 755人(同上 954人)
- ・ 大和市民ゴルフ大会参加者 344人(同上 289人)
- ・ 大和市民まつりスポーツイベント 参加者 714人(同上 2,000人)

[活動指標] 開催回数

予定 6回

実績 6回



(2) スポーツ教室開催事業

[担当] スポーツ課

[事業内容] スポーツ教室の開催を(財)大和スポーツ・よか・みどり財団に委託しました。

開催教室：8種目 11教室(前年度 7種目 10教室)

- ・ トランポリン教室 2回
- ・ 夏休み少年サッカー教室 2回
- ・ 障害者卓球教室 1回
- ・ ソフトバレーボール教室 2回
- ・ 健康体操教室 1回
- ・ 市民体力づくり歩け歩け運動 1回
- ・ はじめての親子体操教室 1回
- ・ スポーツマッサージ教室 1回

参加人数計：488人(前年度 286人)

[活動指標] 開催種目数

予定 8種 実績 8種

(3) 学校施設スポーツ開放事業

[担当] スポーツ課

[事業内容] スポーツ及びレクリエーション活動の場として市内小中学校の校庭・体育館・武道場・プールを開放しました。

	利用件数		利用人数	
	H20	H19	H20	H19
校庭開放	3,797	3,708	197,375	209,764
体育館開放	11,273	10,893	238,638	229,291
プール開放	(18校で開催)	(18校で開催)	10,745	11,595

プール開放期間 7月23日～8月17日

[活動指標] 登録団体数

予定 512件 実績 548件

(再掲) 市民大学事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・人間を知るコース(4回開催)
「市民健康セミナー “気づき” 健康な生活をおくるために」
- ・大和を知るコース(7回開催)
「わがまちを知る! 大和市の地名~地名から大和の歴史を知る」
- ・現代を知るコース(5回開催)
「航空工学入門~初めての飛行力学」

【活動指標】 講座回数 **予定** 16回 **実績** 16回

<小項目> 芸術・文化に関する学習機会の提供

- ・芸術・文化活動への市民の関わりを深め、広げていきます。
- ・地域文化創造の基盤となる文化遺産の継承と周知を図っていきます。

(1) 文化芸術振興事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 次のとおり事業を開催しました。

- ・第15回大和薪能 入場数 1,064人
- ・コミュニティ音楽館 来場者数 655人
- ・文化祭 出品数 288件
- ・ダンスフェスティバル 出場者数 21組
- ・さくら文芸祭 出品数 151件
- ・第4回大和文芸映画祭 入場者数 952人



【活動指標】 コミュニティ音楽館の開催日数 **予定** 10日 **実績** 9日

(2) 音楽・演劇フェスティバル開催事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 音楽フェスティバルは、吹奏楽の部と合唱の部ごとに独立したイベントとして、それぞれ参加団体による実行委員会に委託して実施しました。

音楽フェスティバルの開催 : 2回

演劇フェスティバルは、幼年期から少年期までの情操教育の意義も兼ねた「子ども演劇フェスティバル」として、参加団体による実行委員会に委託して実施しました。

子ども演劇フェスティバルの開催 : 1回

【活動指標】 音楽・演劇フェスティバル参加団体数 **予定** 30件 **実績** 33件

(3) 埋蔵文化財保護事業

【担当】 文化振興課

- 【事業内容】**
- ・埋蔵文化財包蔵地等の開発行為を行う個人・事業者の照会を行いました。
1,401件(前年度 1,571件)
 - ・埋蔵文化財包蔵地等の開発行為を行う個人・事業者との協議を行いました。
90件(同上 136件)
 - ・埋蔵文化財の発掘調査を行いました。
27件(同上 11件)

【活動指標】 文化財保護法上の事務件数 **予定** 111件 **実績** 90件

(4) 郷土民家園管理運営事業

【担当】 文化振興課

- 【事業内容】** 指定管理者による管理運営を行いました。
- 指定管理者 : 財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団
年間入園者総数 : 26,474人(前年度 29,743人)

【活動指標】 行事参加者数 **予定** 645人 **実績** 573人

(5) 下鶴間ふるさと館維持管理事業

【担当】 文化振興課

- 【事業内容】** 指定管理者による管理・運営を行いました。
- 指定管理者 : 大新東ヒューマンサービス株式会社横浜支店
入館者数 : 6,096人(前年度 6,883人)



【活動指標】 一般公開日数 **予定** 296日 **実績** 308日

(6) つる舞の里歴史資料館運営事業

【担当】 文化振興課

- 【事業内容】**
- ・資料管理、来館者への説明、普及事業などを行い、市民の方々の歴史に対する理解を深めました。
 - ・常設展を開催するほか、企画展を開催しました。
企画展「幻の林間都市計画～雑木林に描かれた夢の一大都市」
開催期間 : 11月1日～11月24日
入場者 : 1,103人



【活動指標】 年間入場者数 **予定** 4,000人 **実績** 5,149人

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・ 生涯学習センターの講座等開催事業や市民大学事業については、時代に即し、市民が関心のあるテーマを厳選するとともに、当初予定したとおり講座を開催することができています。
- ・ 子どもが自由に活動できる場所として、子ども広場や野外での体験学習などを実施しましたが、登録団体も、予定数 512 件から実績数 548 件に増えており、達成度は高くなっています。

未達成の点

- ・ 郷土民家園においては、行事参加者が予定より減少しています。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・ 郷土民家園や、つる舞の里歴史資料館は、利用者を増やすため、季節ごとに様々な事業を行っていますが、利用者が増えていません。郷土民家園などの施設は、リピーターをどのように増やすかが、課題であり、施設を見学するだけでなく、イベントと合体させるなどアイデアを生かして入園者を増やすことを検討します。
- ・ 小中学校の歴史教材として、教育委員会と連携し、生徒の施設見学やイベントに参加させることも検討します。

中項目（３）ボランティア機会の提供

〔目標〕 一人ひとりが学習を深め、自らを高めることができるよう、学習成果の社会還元
の機会として、ボランティア活動を普及し活性化していきます。

主な事業と平成 20 年度の実績

<小項目 > ボランティア登録窓口の一元化と認知度の向上・普及

- ・ 市民活動センター、社会福祉協議会やまもボランティアセンターなど、ボランティア
窓口機関や関係課が一体となって、一人ひとりの市民の視点に立ったわかりやすく信
頼感の持てる総合的なボランティア窓口を設置します。
- ・ ボランティア窓口の機能・人員・業務内容を充実させ、窓口やボランティア活動の存在
について一般への認知度を向上させ、普及・浸透させていきます。

<小項目 > ボランティア活動の拡大に向けた循環の構築

- ・ ボランティア登録等の総合窓口を中心に、紹介・実践を持続的に行い、ボランティア市
民層の発掘・拡大、研修（受け入れ先機関等との連携企画）評価（顕彰促進、成果の
社会への PR など）を行い、活動がより多くの市民の目に触れ、より多くの市民の充実
した参加が得られるようにします。
- ・ より多くのボランティア活動メニューを提示し、市民一人ひとりのニーズに応えられ
るよう、庁内各課・施設・関係機関・団体等へのボランティアの受入について働きか
け、新たなボランティア活動を創出していきます。
- ・ 学習センターを中心に、地区に根ざした活動についてボランティア市民層の発掘、身
近で気軽な実践機会の提供、ステップアップに向けた情報提供を行います。

（再掲）生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報
誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	3,742 件（前年度 3,501 件）
事業・講座情報	2,314 件（同上 3,540 件）
資格・試験情報	25 件（同上 61 件）
ボランティア講師制度情報	466 件（同上 441 件）
市民端末利用者数	15,433 人（同上 17,820 人）
（生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口）	
その他	7,544 件（同上 8,332 件）

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 3,501 件 実績 3,742 件

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・ これからの社会ではボランティアの活動は非常に大きなマンパワーとなることから、ボランティアの育成を図るとともに、ボランティアが活動しやすい環境づくりが求められます。生涯学習センターで活躍しているボランティア講師の会を支援し、ボランティア講師情報を積極的に提供（平成19年度441件 平成20年度466件）するなど、ボランティアと連携・協力を図ることができています。

未達成の点

- ・ 未達成の点はありません。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・ これからの行政は、税収増が期待できないので、事業を行うための予算が制約されることから、ボランティアやNPO等による社会参加が不可欠となります。行政は、ボランティアを社会資源として、市民は自己表現の場として、うまくネットワークさせていくことが重要です。そのためには、ボランティア総合窓口制度を活用するなど、確保の方法について検討していきます。
- ・ 併せて、ボランティアの育成や、ボランティア団体等との連携、活動場所の提供などを行い、ボランティア活動が円滑に行われるように努めていきます。

中項目 (1) 全市的・広域的なテーマ別活動への支援

- [目標] ・各課等で実施しているグループ活動支援に関わる既存事業を整理して「生涯学習・人材育成と地域活動・市民活動の循環」の視点から支援のあり方を見直します。
- ・市内での役割分担や整合性を図り、テーマ別グループ活動への支援を体系化・システム化します

主な事業と平成 20 年度の実績

< 小項目 > 情報収集・蓄積・提供

- ・全市的・広域的なテーマ別活動の情報収集・蓄積・提供を行う市民活動センターへ市内各課等が情報を提供するなど、積極的な連携・協力を図ります。

(再掲) 生涯学習情報提供・学習相談事業

【担当】 生涯学習センター

[事業内容] 市内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

< 学習情報の提供実績 >

サークル・団体情報	3,742 件 (前年度 3,501 件)
事業・講座情報	2,314 件 (同上 3,540 件)
資格・試験情報	25 件 (同上 61 件)
ボランティア講師制度情報	466 件 (同上 441 件)
市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	15,433 人 (同上 17,820 人)
その他	7,544 件 (同上 8,332 件)

[活動指標] サークル・団体情報提供件数 予定 3,501 件 実績 3,742 件

<小項目 > 初動期・発展期のグループ活動への支援

<小項目 > 持続的な支援

- ・ 市民活動推進事業の中で、テーマ別の初動期・発展期のグループ活動への支援を行います。
- ・ 学習センターの学習交流支援システム（市民が企画する講座など、広く一般へ働きかける事業への支援システム）の普及・活動促進を図ります。
- ・ 重要度の高い分野については、下記、 の項目も目指しつつ、庁内各課機関等が直接または間接的に持続的なグループ活動支援を行っていきます。

(1) やまと成人式開催事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 新成人等で組織する実行委員会に「2009 やまと成人式」の企画・運営・実施を委託しました。

日程：1月12日

場所：大和スポーツセンター

運営内容等・案内状・チケット等の印刷物のデザイン

- ・ 式典及び司会進行
- ・ アトラクション
- ・ 託児室の設置等

参加者：1,431人（68.1%）

（前年度1,501人（71.9%））

【活動指標】 式典参加者数

予定 1,471人

実績 1,431人



(2) 生涯学習振興基金活用支援事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 市民劇団である「演劇やまと塾」に対し、生涯学習振興補助金を交付しました。

実施日：8月16日～8月17日

公演内容：本市の民話を含めた6つの話を交差させた夢を描くオムニバス構成の演技「CANVAS～大和に描く七色の物語～」

会場：大和市生涯学習センターホール

入場者数：713人

<基金残高> 平成19年度末現在高 22,799,572円

平成20年度末現在高 21,757,926円

【活動指標】 補助金申請件数

予定 3件 実績 3件

(再掲) 青少年指導者育成支援事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 青少年健全育成団体への支援、青少年センターまつりの開催、青少年指導者養成事業を実施しました。

【活動指標】 青少年指導員年間活動数

予定 30件 実績 30件

(再掲)文化芸術振興事業

【担当】文化振興課

【事業内容】次のとおり事業を開催しました。

- ・第15回大和薪能 入場数 1,064人
- ・コミュニティ音楽館 来場者数 655人
- ・文化祭 出品数 288件
- ・ダンスフェスティバル 出場者数 21組
- ・さくら文芸祭 出品数 151件
- ・第4回大和文芸映画祭 入場者数 952人

【活動指標】 コミュニティ音楽館の開催日数 予定 10日 実績 9日

<小項目> 担い手の発掘・育成・主体創出

- ・ 庁内各課・機関等は、重要度の高い分野で協働可能な領域について、必要な事業・活動の理解者・協力者となる市民を発掘・育成し、組織化を支援するなどして、その事業・活動を担う主体を創出していきます。

(1) 青少年健全育成都市宣言推進事業

【担当】こども・青少年課

【事業内容】 青少年の育成活動について幅広く市民に啓発を図り、市民総ぐるみの運動として青少年健全育成大会を開催しました。

<青少年健全育成大会の主な内容>

- 表彰式 被表彰者 24人、1団体
- 作文発表 応募人数 1,915人(小20校、中9校、高1校)
- 作文集掲載者 30人
- 作文朗読者 3人(小・中・高 各1人)
- 活動発表・少年洋上体験
- ・聖セシリア女子中学校・高等学校ハンドベルクワイアクラブ

【活動指標】 青少年問題協議会の開催回数 予定 2回 実績 2回

(2) 市立小中学校特別教室の開放事業

【担当】生涯学習センター

【事業内容】 生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。

<特別教室の開放の実績>

学校名	開放回数	利用者数
引地台中学校	92回	844人
中央林間小学校	59回	679人
渋谷小学校	219回	3,081人
渋谷中学校	1,245回	23,829人

渋谷中学校(特別教室・1階総合学習スペース(愛称;下和田の郷))の開放は「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

【活動指標】 下和田の郷教室事業数 予定 21件 実績 24件

<小項目 > 一般化・汎用化と地区単位活動への普及促進

- ・ 庁内各課・機関等は、全市的・広域的なテーマ別活動やパイロット的活動が一定の成果をあげた場合の次のステップとして、その活動をより一般化・汎用化して、地区単位活動へ普及・浸透させていきます。

(再掲)生涯学習情報提供・学習相談事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容] 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	3,742件(前年度 3,501件)
事業・講座情報	2,314件(同上 3,540件)
資格・試験情報	25件(同上 61件)
ボランティア講師制度情報	466件(同上 441件)
市民端末利用者数	15,433人(同上 17,820人)
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	
その他	7,544件(同上 8,332件)

[活動指標] サークル・団体情報提供件数 予定 3,501件 実績 3,742件

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・ ボランティア団体やサークルなど多くのグループが、市内で活動を続けていますが、市で実施している事業にはこのようなグループや市民の協力無しでは実施が難しい事業が多くあります。例年どおり基金によるグループへの助成金の交付や、将来の支援者を育てる青少年健全育成大会を実施するなど、達成度は高い状況です。
- ・ また、渋谷中学校開放管理運営委員会と「渋谷きんりん未来の会」で協働して行っている学校開放も事業数を21件の予定を24件に増やすなど、成果を上げています。

未達成の点

- ・ やまと成人式の参加者が予定数を若干下回っています。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・ 新規加入者が少ないことや団体の構成員の高齢化・固定化などにより、団体活動の硬直化が見られます。今後の社会では地域での自主的な活動が必要であり、地域文化を自らの手で行っていかうという意識の高揚が求められています。そのためにも、団体の組織力の強化を図り、団体が活動しやすい環境の整備を進めていきます。
- ・ 後継者を育てるために、青少年育成団体などは、同じ人が続けるのではなく、新陳代謝を図っていくことが求められます。そのため、活動が盛んであるボランティア団体やサークルを大事に育てるとともに、それぞれの団体を孤立させないためのネットワークをつくっていきます。

中項目（２）地区単位活動への支援

〔目標〕 広域的・全市的なテーマ別グループ活動への支援とは異なり、テーマ別活動の所管課等の持つ資源を効果的に引き出すなど、より地区の実情に配慮した対応を行うため、連携・協力などのコーディネート機能に重点を置いた支援を目指します。

主な事業と平成 20 年度の実績

<小項目 > 情報収集・蓄積・提供

- ・ 現在、情報コーナー管理や学習相談など主に社会教育主事・社会教育指導員が実施している各学習センターの機能・体制を強化し、より積極的に身近な地区単位活動の情報収集・蓄積・提供を行います。

（再掲）生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	3,742 件（前年度 3,501 件）
事業・講座情報	2,314 件（同上 3,540 件）
資格・試験情報	25 件（同上 61 件）
ボランティア講師制度情報	466 件（同上 441 件）
市民端末利用者数	15,433 人（同上 17,820 人）
（生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口）	
その他	7,544 件（同上 8,332 件）

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 3,501 件 実績 3,742 件

<小項目 > 学習交流支援システムの普及・活用促進

<小項目 > 担い手の発掘・育成・主体創出等への連携協力・支援

- ・ 各学習センターにおける学習交流支援システム（市民が企画する講座など広く一般に働きかける事業への支援システム）の普及・活用促進を図り、地区における人材育成や学習成果の社会還元を充実させます。
- ・ 庁内各課・機関や団体等が各分野の担い手の発掘・育成・主体創出等で社会教育的事業を行う場合に、各学習センターが共催事業とするなど、連携・協力・支援を行います。
- ・ 各学習センターに社会教育指導員を充実配置し、社会教育主事など専門職員による指導のもと、地区単位活動の連携推進業務を担当させながら、地区の市民感覚と行政・共益への理解とを併せ持つ人材を持続的に地区へ輩出していきます。

（１）学習センター地域文化振興事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、各学習センターを会場に、サークル等の合同発表会（展示・発表・実演・上映会）として「学習センターまつり」を開催しました。

〔活動指標〕 生涯学習センターまつり参加団体数 予定 164 件 実績 137 件

<小項目 > 持続的な支援

- ・ 庁内各課・機関等の地区単位活動支援について、普及・活用・浸透を図ります。
- ・ 庁内各課・機関等の地区単位活動支援について、人材育成等が十分に行き渡り、事業の理解・行動の担い手となる市民層が充実した地区から順次支援対象を市民自治区とし、個別の単位集団への支援業務等を委ねていきます。

(1) 親子ふれあい推進事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 ふれあい広場は推進委員会に、また親子ナイトウォークラリーは青少年指導員連絡協議会に委託して実施しました。

<ふれあい広場>

開催期間 平成 20 年 10 月から平成 21 年 1 月まで

開催場所 地区実行委員会 12 地区、小学校区実行委員会 3 地区

入場者数 18,408 人(前年度 18,000 人)

<親子ナイトウォークラリー>

実施日 平成 20 年 7 月 19 日(土)

スタート：渋谷小学校・富士見橋公園 ゴール：渋谷小学校

参加者数 130 組 469 人(前年度 128 組 507 人)



【活動指標】 ふれあい広場開催回数 予定 15 回 実績 15 回

(2) スポーツ関係団体支援事業

【担当】 スポーツ課

【事業内容】 次の団体に対して補助金を交付しました。

・ 地区体育振興会(11 地区) ・ 体育協会

・ スポーツ少年団

・ レクリエーション協会

・ 軽スポーツ協会

【活動指標】 地区体育振興会連絡協議会開催数 予定 3 回 実績 4 回

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・ 例年、各学習センターにおいて、主にその地区館で活動している団体の発表の場として、学習センター地域文化振興事業を実施しています。この事業のメインはセンターまつりであり、地区の人材育成や学習成果を披露する効果は出ていますが、団体の解散などで、参加予定数 164 件に対して実績 137 件となり、達成度は低い状況です。

未達成の点

- ・ 生涯学習センターの地域文化振興事業の参加団体数が予定数に達しませんでした。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・ 最近の傾向として、景気の不透明感や、子育てなどで、地域での団体活動に参加する人が少なくなっています。地域での文化活動振興のためには、担い手の育成が必要で、団塊の世代の社会参加や、青少年のボランティア活動支援などを、引き続き行っていきます。
- ・ 財政状況が厳しくなると参加者減を理由に社会教育事業が削減される傾向にあります。民間のカルチャーセンターやパソコン教室など、営利事業として民間が行っても良い事業もありますので、公の役割を認識したうえで、公が実施すべき事業については、参加者を増やすとともに、事業の質的な向上を図っていきます。

大項目 3

学習空間の確保

中項目（1）既存の生涯学習施設の充実

【目標】 ・多様な市民ニーズに対応すべく、既存の関連施設の高度活用等を図っていきます。

主な事業と平成 20 年度の実績

<小項目 > 利用しやすい施設づくり

- ・ 利用者の利便性向上のために、施設スタッフの充実と施設利用システムの改善等に努めていきます。
- ・ 快適な施設づくりのために、設備の改善等に努めていきます。

（1）青少年センター施設維持管理事務

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 ・施設の総合的な維持管理を行いました。
・外壁の補修・塗装工事を行いました。

【活動指標】 委託管理件数

予定 15 件 実績 15 件

（2）生涯学習センター会議室等貸出事務

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 ・施設利用に必要な団体登録申請に係る事務や登録後の各種変更申請の処理を行いました。
・会議室等の代理予約や使用料の収納、利用状況の統計事務、物品・備品の貸出などを行いました。
・市外、営利団体等でも電子予約システムを利用できるようにするため、受付システムの変更について調整を行いました。



【活動指標】 開催日数

予定 1,540 日 実績 1,362 日

<小項目 > 施設の効果的な運営

- ・ 市民協働や民間委託などの手法も視野に入れながら、施設の効果・効率的運営を図っていきます。

(1) 青少年キャンプ施設管理運営事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 このまさわキャンプ場を借上げ、青少年団体や親子に提供しました。

<利用者数等>

・ 泉の森ふれあいキャンプ場 12,892人(前年度14,462人)

開設日：3～11月...毎日 / 12～2月...土・日・祝日



・ このまさわキャンプ場 498人(同上 448人)

開設日：8月8日～17日(10泊11日)

稼働率66.7%(前年度62.2%)

【活動指標】 泉の森ふれあいキャンプ場開放日数 予定 301日 実績 297日

(再掲) 郷土民家園管理運営事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 指定管理者による管理・運営を行いました。

指定管理者：財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団

年間入園総数：26,474人(前年度29,743人)

【活動指標】 行事参加者数 予定 645人 実績 573人

(再掲) 下鶴間ふるさと館維持管理事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 指定管理者による管理・運営を行いました。

指定管理者：大新東ヒューマンサービス株式会社横浜支店

入館者数：6,096人(前年度6,883人)

【活動指標】 一般公開日数 予定 296日 実績 308日

(再掲) 図書館情報提供事業

【担当】 図書館

【事業内容】 ・ 図書館ホームページでの蔵書検索、新着図書情報などを随時開示するとともに、更新頻度を高めました。

・ インターネットによる予約受付を行いました。

・ ブックリスト・図書館報を作成しました。

【活動指標】 図書情報冊子(ブックリスト)発行部数 予定 5,000冊 実績 6,000冊

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・ 既存の施設は、建築してから年数が経過し、修繕箇所が多くなっていますが、利用者が施設を安全・快適に使用できるように、必要な修繕を行いました。そのため、生涯学習センターの会議室等の貸出しは、開催日数の予定 1,540 日に対して、実績 1,362 日と少なくなっています。今後も既存の生涯施設の修繕等が予想されますので、効果的な運営の達成度は高い状況とは言えません。

未達成の点

- ・ 生涯学習センター会議室等貸出事業については、開催日数が予定数を下回りました。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・ 施設の老朽化が進み、計画的な修繕計画に基づき、優先度の高い補修箇所から修繕を行っていますが、利用者の安全と快適な使用のために、今後も長期的な視点に立ち、利用しやすい施設づくりを進めていきます。
- ・ 修繕の終了後は、閉館によって貸出しできなかった分を取り戻すような意気込みを持って、館の運営や事業に取り組んでいきます。

中項目（２）新たな学習空間の確保

〔目標〕 自然や史跡、広場など、学習空間の確保に努めていきます。

主な事業と平成 20 年度の実績

<小項目 > 新たな学習空間の確保

・ 閉じられた施設空間だけでなく、開放的な屋外空間の確保にも努めていきます。

（１）放課後子ども教室推進事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 子どもたちが安全・安心して遊べる居場所として、校庭、体育館、余裕教室を活用して放課後子ども教室を実施しました。

<利用者数等>

・草柳小学校 全 59 回開催、のべ利用者数 3,227 人

・開設日時 6 月～9 月 放課後から午後 5 時

10 月～3 月 放課後から午後 4 時

授業のある日の月曜日と水曜日

・安全管理員等 子どもたちの遊びの見守りとして原則 4 人配置

〔活動指標〕 放課後子ども教室 1 日平均利用者数 予定 40 人 実績 55 人

（再掲）市立小中学校特別教室の開放事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。

<特別教室の開放の実績>

学校名	開放回数	利用者数
引地台中学校	92 回	844 人
中央林間小学校	59 回	679 人
渋谷小学校	219 回	3,081 人
渋谷中学校	1,245 回	23,829 人

渋谷中学校（特別教室・1 階総合学習スペース（愛称；下和田の郷））の開放は「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

〔活動指標〕 下和田の郷教室事業数 予定 21 件 実績 24 件

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・ 新規事業として、草柳小学校で放課後子ども教室推進事業を開始しました。1日平均55人の利用者があり、予定数の40人を上回り、子どもたちにとっての新たな学習空間の確保ができました。

未達成の点

- ・ 平成20年度から、放課後子ども教室推進事業を始めましたが、1日の平均利用者数も予定を上回っており、未達成の点はありません。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・ 放課後子ども教室については、小学校全校における実施を目指していきます。また他の新たな学習の場や機会の提供についても、情報収集を図りながら、確保に努めていきます。
- ・ 事業の拡大に伴って、この事業をしっかりと支えていく指導者、サポートする人の育成を図っていきます。

中項目（３）施設配置の再検討

〔目標〕 生涯学習関連施設の今後のあり方を再検討していきます。

主な事業と平成 20 年度の実績

<小項目 > 施設配置の再検討

- ・ 施設の概念を、広く自然や史跡等を含む活動空間としてとらえながら、取り巻く情勢の変化を踏まえて、今後の関連施設のあり方について再検討していきます。
- ・ 今後の関連施設のあり方は、市民や関連部署とともに検討していきます。

（１）文化会館建設基金管理事務

〔担当〕 文化振興課

〔事業内容〕 寄附金の受入れ及び積立金の管理を行いました。

寄附件数 2 件（前年度 1 件）

〔活動指標〕 寄附金受入件数

予定 1 件 実績 2 件

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・ 文化会館の建設に向け、基金管理を適正に行いました。

未達成の点

- ・ 寄附金も受入予定件数を上回り、未達成の点はありません。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・ 文化の薫る都市を目指し、文化芸術振興に関わる条例や基本計画との整合を図り、ホール基本構想の策定に向けて、建設手法や運営手法等の課題に関する調査研究を継続します。

中項目（1）市民とともに推進する

- 〔目標〕 ・生涯学習推進協議会の市民参加度を高め、協働による施策の立案・推進を図っていきます。
 ・個人・グループ単位の市民と協働した事業推進を図っていきます。

主な事業と平成 20 年度の実績

<小項目 > 市民代表機関の充実

- ・生涯学習推進協議会の市民メンバー比率を高めていきます。
- ・生涯学習推進協議会の機能を拡大していきます。

〔1〕生涯学習総合推進事業

〔担当〕生涯学習センター

- 〔事業内容〕 ・「第3次大和市生涯学習計画」に基づき、生涯学習施策の推進を図りました。
 ・大和市生涯学習推進協議会において、今後の効果的な施策推進のための方策を検討し、「学習機会の提供」の提言がなされました。

〔活動指標〕 市民メンバーの人数 予定 1人 実績 2人

<小項目 > 市民と協働で進める事業

- ・ボランティア講師組織の自立化を支援していきます。
- ・学習グループの自主企画講座等の活発化を支援していきます。

〔再掲〕講座等開催事業

〔担当〕生涯学習センター

- 〔事業内容〕 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

- ・生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 65事業（前年度77事業）
- ・現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等） 27事業（同上 20事業）
- ・その他事業（音楽会や発表会等） 29事業（同上 29事業）
- ・協働事業（渋谷中学校） 24事業（同上 18事業）

〔活動指標〕 開催講座数 予定 145事業 実績 144事業

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・ 豊かな心を育てる生涯学習社会の確立を目指して、具体的方策を明らかにして市民一人ひとりが生涯に渡って、主体的に学ぶことができる環境づくりを推進していきます。そのための市生涯学習推進協議会を設置していますが、公募市民メンバーも2人入っており、市民参加による事業の推進体制はできています。

未達成の点

- ・ 未達成の点はありません。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・ 市民、市民団体、事業者及び市がお互いに協力し、各々がそれぞれの役割と責任を認識し、補完しあって街づくりが進められるように図っていきます。
- ・ そのためには、多くの市民や団体、事業者等の意見を聴取することが大切となりますので、市で設置した協議会などには、なるべく多くの市民が公募等で参加できるように、努めていきます。

中項目（２）関係機関と連携して推進する

- 〔目標〕 ・市の出資する財団・公社との役割分担を明確にして、相互補完と連携による事業推進を図っていきます。
- ・必要に応じて、高等教育機関や民間教育機関等との事業連携を図っていきます。

主な事業と平成 20 年度の実績

<小項目 > 市が出資する財団・公社との連携

- ・財団・公社の事業採算性と公益的責務をふまえた市との役割分担を明確にします。
- ・財団・公社の公益的責務に着目し、行政の事業領域を委ねていきます。

（１）スポーツ・よか・みどり財団支援事業

〔担当〕 文化振興課

- 〔事業内容〕 ・スポーツ、緑化推進活動、その他多様な余暇活動のための事業を実施している財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団を支援しました。

（財）大和市スポーツ・よか・みどり財団運営費補助金

- 〔活動指標〕 市からの派遣職員数 予定 5人 実績 4人

<小項目 > 関係機関との連携

- ・高度で専門的な学習機会の提供事業などを、大学や民間教育機関と連携して推進していきます。
- ・行政の事業領域の見直し。

（１）読書活動推進事業

〔担当〕 図書館

- 〔事業内容〕 ・各種おはなし会・文学講座などを開催しました。

（実績） おはなし会 73回実施・1,682名参加

読書講演会 全3回実施・延べ117名参加

子ども読書活動推進講座 全2回実施・延べ41名参加

一日図書館員 3回実施・52名参加

- ・大和市子ども読書活動推進会議の開催
- ・大和市子ども読書活動推進実施計画の実施



- 〔活動指標〕 講座等実施回数 予定 70回 実績 81回

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・ 余暇活動等のため様々な事業を展開している（財）大和市スポーツ・よか・みどり財団の支援や、大学等の専門家講師による読書講演会、子ども読書活動推進講座を実施することにより、関連機関と連携した事業の推進を図ることができています。

未達成の点

- ・ 財団の自立及び自主運営のためには、市からの派遣職員を少しずつ減らす必要があり、平成20年度も1人減をしました。目標に向けての未達成の点はありません。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・ 近年中に公益法人への移行を目指す財団を支援するとともに、市からの人件費補助及び、市からの委託事業等を、財団と連携・情報交換を緊密に行いながら、適正に行っていきます。

中項目（3）総合行政として推進する

- 【目標】 ・ 関連部署による協議組織の機能を充実していきます。
 ・ 各部署が取り組みやすい環境を整えていきます。

主な事業と平成 20 年度の実績

<小項目 > 全庁的協議組織の設置

- ・ 生涯学習推進調整会議を設置し、全庁的な施策の推進を図ります。
- ・ 事業内容検討委員会及び特別教室開放推進委員会を設置し、事業調整を図ります。

（再掲）市立小中学校特別教室の開放事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。

< 特別教室の開放の実績 >

学校名	開放回数	利用者数
引地台中学校	92 回	844 人
中央林間小学校	59 回	679 人
渋谷小学校	219 回	3,081 人
渋谷中学校	1,245 回	23,829 人

渋谷中学校（特別教室・1 階総合学習スペース（愛称；下和田の郷））の開放は「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

【活動指標】 下和田の郷教室事業数 予定 21 件 実績 24 件

（再掲）生涯学習総合推進事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 ・「第 3 次大和市生涯学習計画」に基づき、生涯学習施策の推進を図りました。
 ・大和市生涯学習推進協議会において、今後の効果的な施策推進のための方策を検討し、「学習機会の提供」の提言がなされました。

【活動指標】 市民メンバーの人数 予定 1 人 実績 2 人

<小項目 > 各部署の取り組み推進

- ・ 全庁的な意識づくり、共通認識を醸成していきます。
- ・ 具体的な取組方針や、事業フレームを明確にしていきます
- ・ 生涯学習主管部署が、全庁にわたる関連事業についての進行管理を行っていきます。

（再掲）生涯学習総合推進事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 ・「第 3 次大和市生涯学習計画」に基づき、生涯学習施策の推進を図りました。
 ・大和市生涯学習推進協議会において、今後の効果的な施策推進のための方策を検討し、「学習機会の提供」の提言がなされました。

【活動指標】 市民メンバーの人数 予定 1 人 実績 2 人

(再掲) 読書活動推進事業

【担当】 図書館

【事業内容】

・各種おはなし会・文学講座などを開催しました。

(実績) おはなし会 73回実施・1,682名参加

読書講演会 全3回実施・延べ117名参加

子ども読書活動推進講座 全2回実施・延べ41名参加

一日図書館員 3回実施・52名参加

・大和市子ども読書活動推進会議の開催

・大和市子ども読書活動推進実施計画の実施

【活動指標】

講座等実施回数

予定 70回

実績 81回

<小項目> 生涯学習所管部門の整備・充実

- ・明確な目標設定のもと、推進体制(組織)を一元化していきます。
- ・適材適所の人材配置に努めます。

(1) 文化財保護審議等運営事務

【担当】 文化振興課

【事業内容】

文化財保護審議会を開催し、市指定重要文化財の指定案件について審議しました。また、文化財保護指導委員による巡回調査を実施しました。

・文化財保護審議会 2回開催(前年度2回)

・文化財保護指導委員会議 2回開催(同上 2回)

・指定文化財等巡回調査 2回実施(同上 2回)

【活動指標】

審議会開催数

予定 2回

実績 2回

(2) 社会教育委員会会議運営事務

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】

社会教育委員会会議を開催するほか、神奈川県社会教育委員連絡協議会の地区研究会、研修会に出席しました。

<会議等開催回数>

・社会教育委員会会議定例会 4回(前年度4回)

・社会教育委員会会議臨時会 1回(同上 3回)

・地区研究会 3回(同上 2回)

・研修会 1回(同上 1回)

・生涯学習振興基金選考会 1回(同上 1回)

【活動指標】

会議の開催回数(定例会)

予定 4回

実績 4回

教育委員会の自己点検・評価

- 達成度 -

特に基本目標の推進に寄与した事業等

- ・特別教室開放の推進を図る特別教室開放推進委員会や、生涯学習施策の検討を行う生涯学習推進協議会、その他子ども読書活動推進会議、社会教育委員会会議、文化財保護審議会等については、予定どおり開催しました。

未達成の点

- ・未達成の点はありません。

- 基本目標推進に向けた課題 -

- ・推進委員会や、協議会などにおいては、市と委員との情報交換を密にして、より会議の活性化を図っていきます。また、会議録を公開することにより、広く市民の意見を聴くことができるような体制づくりを引き続き行っていきます。